

シマヘビ

(学名: *Elaphe quadrivirgata*)

(写真・文 吉岡義雄)



▲ 水田や池沼とその周辺に現れる事が多く、しばしば泳ぐ姿が見られる



▲ 日光浴をして体温を上げてから採餌を行う。そのため、日当たりのいい道路上によく姿を見せる

シマヘビは沖縄と南西諸島を除く日本全土で見られる無毒のヘビです。様々な環境で見られますが、特に水田や池沼とその周辺で見られる事が多く、その近くに日当たりのいい道路や開けた草地があると、よく日光浴をする姿を見ることができます。その名の通り、背中に4本の縦縞があることが特徴ですが、色彩変異が多く、縦縞の薄いものや、カラスヘビとよばれる全身が真っ黒のものも確認されています。全長は大きなもので2mに達します。

食性は幅広く、両生類、爬虫類、鳥類、小型哺乳類を捕食します。ただし、獲物を絞め殺すのが上手ではなく、皮膚もあまり伸びない事から、これらに長けるアオダイショウと比較すると小柄な獲物や細長い獲物しか襲えません。

そんなシマヘビが特に好んで捕食するのはカエルです。シマヘビの餌動物中の約86%をカエル類が占めていたとの報告もあります。本種が水辺やその周辺に多いのは、餌であるカエルが多い為です。

只見町では、人家の周辺にも両生類の繁殖池や水田があるためか、シマヘビは身近で見られる機会が多いヘビです。気性が荒いといわれ、恐れられる事もありますが、実際には臆病で神経質なヘビです。人の気配を感じると一目散に逃げていきます。強く掴んだり、逃げ場がなくなるほど追い詰めたりしなければ、咬まれることはありません。過度に恐れず、避けて歩くか、遠くから観察してみるとよいでしょう。

只見町ブナセンターからのお知らせ

只見町ブナセンター附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

企画展アーカイブ「ヒメサユリのすべて」

会 期：2021年6月5日(土)～2021年7月26日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー